



## 不思議の扉を開けてみよう！

こ ども の た め の と し ゃ か ん だ よ り

返子市立図書館 2016年(平成28年)7月1日発行 vol.12

# マーメイドくらぶ

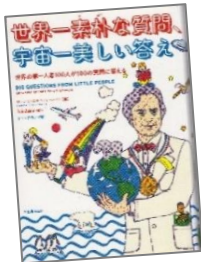
まさつ たなかみゆき ゆうきちよこ  
『摩擦のしわざ』YA 42 田中幸・結城千代子著  
にしおかちあき たろうじろうしや  
西岡千晶絵 太郎次郎社エディタス

摩擦とは、私たちが身近に体験している科学現象のひとつ。ボールペンで字が書けるのも、ヴァイオリンが鳴るのも、人が歩けるのも全て摩擦のしわざです。日常に潜んでいる「科学の不思議」を、科学の歴史もからめながら説明しています。摩擦はあると困る？ ないと困る！ 謎めく摩擦のおはなしです。巻末には、学校ではいつ習うのか、具体的な学年が掲載されています。



せかいいちそほく しつもん うちゅういちうつく こた せかい だいいちにんしや  
『世界一素朴な質問、宇宙一美しい答え-世界の第一人者  
100人が100の質問に答える-』YA 03セ  
に しだ み お こ  
ジェンマ・エルウィン・ハリス編 西田美緒子訳  
か わ だ し ゃ ぼ う し ん し ゃ  
タイマタカシ絵 河出書房新社

「ミミズを食べても大丈夫?」「動物はどうしてわたしたちみたいに話ができないの?」こんな質問をされたらどう答えますか? この本では100の質問を100人の専門家が回答しています。一問一答形式で短く書かれているので、気軽に好きなところを開いてみてください。「へえー」と言うこと間違いなしです。



かいぶん まわ  
『たのしい回文-くるくる回るアタマをつくらう-』  
せとちとせ ぞうげんしや  
807セ 創元社

「ごついドイツ語」上から読んで下から読んで同じ! これが「回文」。おもしろいけど自分で作るのは難しそう? この本では、回文の詳しい作り方も教えてください。さあ、回文づくりにチャレンジしてみましよう。



この夏、中学生・高校生の君に  
おすすめの11冊



『マーメイドくらぶ』って・・・?

『マーメイドくらぶ』は、子ども版とYA(ヤングアダルト)版を3か月毎に交互に発行しています。テーマごとの本の紹介や図書館からのお知らせなど、図書館と本に関する情報をできるだけたくさんお届けします。



## 出会いの扉を開けてみよう!

### 『カチューシャ』YA 91.3 / 野中ともぞ作 理論社

何をするのもゆっくりななじおと、人を惹きつけてやまない少女カチューシャは高校1年生です。日常生活ではなんとなくみんなの一体となったペースが感じられるのに、その流れに身を任せない二人。彼らが抱く思いに、もしかしたら自分と似ている部分が見つかるかもしれません。



### 『ふたつの月の物語』YA 91.3 ト 富安陽子著 講談社



恵まれない境遇に生まれた美月(みづき)と月明(あかり)は、資産家の老婦人に緑深い湖畔の別荘に招待されます。はじめは、反発しあう二人ですが、いつしか手を取り合い自分達の生い立ちをひも解いていきます。満月の夜、ダムに沈む伝説、選ばれし者による神事がはじまります…。

### 『おれのおばさん』F ㊦ 佐川光晴著 集英社

過酷な受験勉強の末、有名私立中学に合格した陽介は、たくさんの可能性を夢見て中学校生活を送っていました。ところが父の突然の逮捕により、叔母が運営する児童養護施設で生活することになります。そこで陽介はさまざまな事情を抱える人たちと出会い、悩みながらたくさんのことを学んでいきます。中学生がたくましく成長する姿を読んでみてください!



### 『源平の風(白狐魔記 [1])』YA 91.3 ㊦ 斉藤洋作 高島純画 偕成社



人間に化けることができるようになったキツネ・白狐魔丸(しらこままる)が、歴史を旅するファンタジー。シリーズ1巻目となるこの本では、武士の世の幕開けとなる時代が舞台で、兄頼朝に追われる源義経と出会って物語は進んでいきます。フィクションですが、歴史の勉強にもなってオススメです。



## 「知る」の扉を開けてみよう!

### 『翼を持つ少女(BISビブリオバトル部 [1])』

### YA 91.3 ヤ 山本弘著 東京創元社

ビブリオバトルとは、ひとり5分の持ち時間で本を紹介し、最後に投票でチャンプ本を決める書評会のこと。中高一貫校のビブリオバトル部を舞台にした学園ものですが、とにかく、文中でたくさんの本が紹介されます。この本読んでみたい、と思ったら、図書館の検索へGO! シリーズで3冊でています。



### 『種をまく人』YA 93 7 ポール・フライシュマン著 片岡しのぶ訳 あすなろ書房



貧しいアメリカの町にある、ごみだらけの小さな空き地。その一角にひとりの女の子が豆を植えました。それを見た人がまた何かを植え、それを見てまた誰かが行動を始めて…。オムニバス形式で語られるそれぞれの空き地の物語から、人と人が関わることの温かさが伝わります。

### 『ジェーンとキツネとわたし』YA E ㊦

### イザベル・アルスノー絵 ファニー・フリット文 河野万里子訳 西村書店

エレヌは、ひとりぼっち。友達はいない。クラスメートに悪口を言われっぱなし。バスを待っていると、死ぬのを待っているような気分になる…。そう、ひとりぼっちで悩んでいる人は世界中にいるのです。白黒で始まった絵本が最後はカラフルに彩られて終わります。ぜひ、手にとって読んで考えてほしい絵本です。



### 『世界を信じるためのメソッド』

### -ぼくらのメディア・リテラシー- YA 36 モ 森達也著 100%ORANGE 装画・挿画 理論社

あなたがしているテレビやインターネットや本は、すべて正しいと思いますか? それらは全て、誰かが切り取ってまとめた、ある事実の「断面」です。何かを知るとき、調べるときに知っておくと必ず役に立つ、メディアを見る視点がわかりやすく語られます。

